

長坂聖天塚古墳(児玉郡美里町)

この右手部分が長坂聖天塚古墳



説明板と石柱が立つ





埼玉県指定史跡になっている



ながさかしょうてんづかこふん 長坂聖天塚古墳

昭和五十年三月三十日
埼玉県指定史跡



美里町周辺の丘陵には、多数の古墳が見られる。山崎山丘陵の西裾には諏訪山古墳群があり、長坂聖天塚古墳はその一つである。昭和四十九年に発掘調査を行ない、次のような事実を確認した。

墳丘は、自然の丘を整形し、一メートルほど盛土をして墳頂部をつくり、あわせて高さ四・五メートル、直径五十メートルの規模にした円墳である。

埋葬施設は、粘土槨三、木棺直葬三の六か所がある。仿製方格規矩鏡が出土した粘土槨は長さ七メートル、幅〇・七メートルもあった。

遺物は、仿製方格規矩鏡・獸形鏡、鉄製の刀子・直刀片、ガラス製小玉、滑石製の勾玉・刀子・有孔円板・白玉などで、これらから古墳の築造年代は、五世紀前半と考えられている。

鏡をはじめとする優秀な副葬品は、この古墳の被葬者が志戸川流域を支配した権力者であったことを推定させる。

県内では初期古墳の代表的なもので、この地方の古墳の発生を知る上で重要である。

周りから見てみる



丘陵裾の地山に1mぐらいの盛り土をして造られている という



円径50m、高さ4.5mの円墳



墳丘に登る



墳頂から粘土槨3基、木棺直葬3基が検出され、菱雲文縁方格規矩鏡などが出土している



墳頂から眺める









参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/misato/nagasaka.html>

<http://members3.icom.home.ne.jp/kofun2-hp/saimisat4.htm>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/56_msto/suwa1.html

http://www.tesshow.jp/saitama/kodama/sight_seki_shoten.html

